

ビニル床タイルの特性

対象商品：エグザフロア、ベストフロア、リファインバックエグザ、ホームベスト、ホームエグザ、おきピタッと イージー

- ・ビニル床タイルはプラスチック製品の性質上、温度変化による伸縮や硬化・軟化が起きます。必ず接着剤にて下地と接着を行うことが基本の施工となります。
- ・接着が不十分な場合、施工後に剥がれや突き上げ、目地隙などを起こすことがあります。
- ・品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあるため、施工の際に調整をしながら施工を行います。

製品に関してのご注意

| | | | |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 光、熱の影響 | ビニル床タイルは光や熱の影響などにより変退色・変形する可能性があります。 | 消毒液・抗菌・除菌スプレーの使用 | 市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、記載の用法・用量に従い、あらかじめ目立たない箇所を確認してからご使用ください。また過剰な塗布は避け、薬液を含ませた布で拭くか、適量をなるべく均一に噴霧するようにし、噴霧後に硬く絞った布巾で水拭きをしてください。また次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)・次亜塩素酸水は、濃色のビニル床タイルおよびビニル床タイル上のワックスが白濁する恐れがあります。また消毒液を使用の際に、容器から液体が床に垂れることがありますので、あらかじめ容器の設置箇所をマットを敷いておくことをおすすめします。 |
| 直射日光による変退色 | 長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなる可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。 | キャスター | キャスター付き椅子および家具を使用しても破損したり表面に凹み傷が生じにくい製品ですが、傷や凹みがないということではありません。特に金属製や球形のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。 |
| 汚染による影響 | 強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや毛染め剤などの汚染物質およびゴム製品等により変退色や変質を招く場合があります。 | 水のかかる場所での使用 | 水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください。キッチンや洗面所、脱衣所など常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。 |
| タバコ | 火の付いたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。 | 車イスを使用する場合 | 車イスの繰り返し使用や、車イス自体の材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れが付くことがあります。屋外でご使用になった車イスを乗り入ると付着した土砂で、床表面に傷が付くことがありますので、土砂をはらってください。 |
| 家具などによる凹み | 家具や什器、ハイヒールなどの局所荷重により、凹み跡が残る場合があります。 | 履き物 | スパイク等が付いた靴を使用する場合は、一般の土足歩行とは異なります。傷や汚れが付きやすく、硬質系床材では滑り等にも注意が必要です。 |
| 重量物による損傷 | 重量物や車輪の移動荷重によって、ビニル床タイルの表面を傷付けたり、膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにご注意ください。また、重量物を置く場合は、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください。 | | |

施工上のご注意

■材料の確認

| | | | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①材料について | 梱包ケースに記載の品名、規格、色番号、ロット番号、数量などを確認し、施工を開始してください。品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあります。施工の際はご注意ください。またタイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。 | ②現場環境に慣らす | 必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。 |
| | | ③適切な保管場所 | 製品を保管する際は、湿気の少ない平坦な場所で平置きし、6段以上積まないでください。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、納まりが悪くなります。直射日光のあたる場所での保管は避けてください。 |

■施工現場の確認

| | | | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①温度調整 | ビニル床タイルは、施工時の温度に影響を受け易く、室温と床材に温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどを起こすことがあります。低温時は特に接着剤の接着力が弱くなります。現場環境は室温15℃～25℃、湿度75%以下が望ましく、温度が低い場合はジェットヒーターなどの暖房器具で現場を暖めるようにしてください。5℃以下では接着剤の反応が悪くなるため、施工をしないでください。施工の前後12～24時間は室温15℃～25℃、湿度75%以下を保つことが好ましく、直射日光・水洗い・重量物の走行等も避けてください。 | ⑤施工 | 反りや剥がれ、膨れなどが生じた場合は、ただちに補修してください。放置すると全体に影響が及び、美観を損なうほか、つまずいて転倒するおそれがあります。 |
| ②明るさの確保 | 現場が暗い場合は、照明器具を用いて十分な明るさを保ってください。 | ⑥OAフロア・フリーアクセスなどの二重床への施工 | 二重床はピールアップ性が強く求められるため、接着剤「CP-7L」による施工が必要です。二重床自体が動く場合があり、それに伴い製品のずれや反りが発生する場合がありますので予め防止をしておくことが必要です。 ※ただし乾式二重床については「ルピロン101、ルピロンエース」を用いての施工をお願いします。 |
| ③清掃 | 下地に汚れ等があると十分な接着強度が得られないため、汚れを取り除いてください。ワックスが付いている場合は除去してください。 | ⑦重ね貼り | 木質系下地、木質フローリング、クッションフロア等の上に重ね貼りができますが、クッション性が高い場合や、凹凸差が激しい場合には施工できません。畳、カーペットなどのやわらかい素材には施工できません。既存床の剥がれや傷等は仕上がりに影響しますので補修してください。また汚れやワックス等は除去してから施工してください。 |
| ④下地調整 | 下地に段差等がある場合は平滑にしてください。また下地の影響等で製品が浮いてしまうような場合は、接着剤が硬化するまで重しを置いてください。 | ⑧接着剤 | 接着剤にて施工する場合、条件、環境等により使い分けしてください。接着剤は各使用方法に基づきご使用ください。なお接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。 |

■施工後の自主点検

接着剤での施工製品は接着剤が硬化する前に補修することが重要です。特にウレタン樹脂系等の接着力の強い施工の場合は、目違い、目地隙等や貼り間違い等が発生すると、硬化後の補修は床材をめくると自体が大変な作業となり、下地まで傷めてしまうことがあります。早期の点検と補修で不具合を防ぐことが重要です。

■養生

養生シートを留める際、粘着テープは直接床材に貼り付けないでください。床材を汚染する原因となります。施工直後に養生シートを使用した場合ビニル床タイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・接着蒸気などがこもりビニル床タイルの反り、突き上げなどが生じる場合があるため、養生シートは通気性のあるものを使用してください。

■その他

取り替え部は、製品ロットの違い、日焼け等により色・サイズが合わない場合がありますのでご了承願います。

■指定接着剤

ルピロン 101、ルピロンエース、RF ボンド、ルピロンエコプラス、CP-7L ▶P.281、282 参照

※当社の指定接着剤は、JIS規格による接着基準を満たしていますので、必ずご使用ください。
※接着剤は、直射日光のあたらない場所(5℃～35℃)で保管してください。

■基本的な施工の流れ



■下地の準備

現場環境を室温15°C~25°C、湿度75%以下にしてください。温度が低い場合はジェットヒーターなどの暖房器具で現場を暖めるようにしてください。5°C以下では接着剤の反応が悪くなるため、施工をしないでください。必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。

■基本的な施工方法

01 割付け

施工エリアのサイズを測り、貼り始めの位置を決めます。原則的に、施工エリアの中心部よりできるだけ左右均等になるようにしてください。部屋の端に長手は15cm以下、短手は5cm以下の物が入らないように割付し墨出しをしてください。仮並べをして確認することをおすすめします。



02 接着剤の塗布

現場の状況に合わせ、指定接着剤の中から最適な接着剤をご使用ください。なおRFボンドは分離を避けるため、缶を開ける前によく振ってください。

接着剤のラベルの使用方法に基づき施工してください。接着剤は施工環境に合わせ、標準塗布量、オープンタイム、および貼付け可能時間を守ることが重要です。

●貼り頃の目安 (RFボンドの場合) ※接着剤により異なります。

| オープンタイムが適正な状態 | オープンタイムが早い状態 | オープンタイムを過ぎた状態 |
|----------------------------------------------|------------------------------------------|------------------|
| | | |
| 指で軽く押して、接着剤がクシ目に沿って指に食い付く ・接着剤のツヤが無くなってくる | 指で軽く押すと、接着剤がつぶれた状態で付いてくる ・接着剤にツヤが見られる | 指で軽く押しても食い付いてこない |

POINT



▼クシ目状に塗布



墨出し線から半分ずつ塗布してください。付属のクシ目ゴテを使用し、接着剤がクシ目状になるようクシ目を立てて塗布してください。

03 貼付

柄を同一方向に合わせながら、墨出し線を基準に、壁に向かって貼り始めます。裏の矢印を見て柄を同一方向に合わせながら貼ってください。タイルをカットするときは、表面から垂直に2~3回切り込みを入れ、最後に折り曲げてからカットすることをおすすめします。



・広い施工現場では、目地ずれが発生することがあります。そのときは、ずれが大きくなるうちに、1枚先の最も短いタイルの目地に合わせて貼り固めてから、カンナなどでタイルの大きさを調整し、はめこみます(殺し貼り)。

04 切り込み

端部でカットがある場合は、切り込みタイルを1枚手前のタイルの上に正確に置き、定規として使う別のタイルを壁面に沿わせて、切り込みタイルの上に重ねてから、その端をカットしていきます。

※カットの際は、下のタイルまで切らないようご注意ください。
※カッターナイフをご使用の際は十分にご注意ください。
※切り込み枚数が多い場合は、接着剤が乾燥する場合があります。乾燥する前に貼り付けを行ってください。



定規として使うタイル

切り込みタイル



切り込みタイル

05 圧着

POINT

貼付け後30分以内に必ず上から床材用圧着ローラーで圧着してください。圧着が不十分の場合は接着不良が起こったり、タイルの表面にクシ目跡が出る場合があります。

06 施工後の点検

施工後、目違いや目地隙、汚れなどが無いかを確認し、必要に応じて補修をします。

07 養生

接着剤が完全に硬化するまでは極端な負荷や温度変化を避け、養生シートなどで床面を保護してください。

ビニル床タイルの施工

■置敷きビニル床タイルの施工について

置敷きビニル床タイルの特性

対象商品：リファインバックエグザ、ホームエグザ

- ・当社の置敷きビニル床タイルは、ピールアップ工法による施工が可能です。

施工上のご注意（ピールアップ工法）

■接着剤

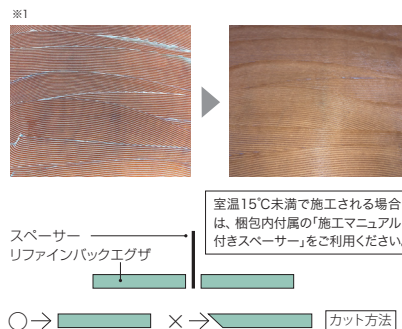
- ・接着剤は当社指定のピールアップボンド（CP-7L）をご使用ください。
- ・接着剤の塗布量の目安は約100～150g/m²とし、クシ目ゴテで塗布してください。
- 接着剤が透明になってから、施工を開始してください。※1

■貼付け

- ・施工時は室温を15℃以上に保ち製品を予め室温になじませてから、詰めすぎずゆるめに施工願います。
- ・やむを得ず室温15℃未満で施工される場合は、梱包内付属の「施工マニュアル付きスペーサー」をご利用ください。

■切り込み・他

- ・極端な温度変化が予想されるような場所には不向きです。（施工後長い間使用せず締め切ったような状況等）
- ・突き上げ防止のため、壁際・柱周り等の仕上げは垂直にカットしてください。
- ・OAフロアへ施工する場合、床パネルの目地とタイルの目地をずらして施工してください。
- ・窓際は特に温度変化が激しくなるため直射日光は避けてください。特に長手方向へ連続して施工する場合は、十分に注意してください。



■OAフロア・フリーアクセスなどの二重床への施工について

- ・二重床はピールアップ性が求められるため、「CP-7L」による施工が必要です。
- ・また二重床自体が動く場合があり、それに伴い仕上材のビニル床タイルのずれが発生する場合がありますので、予めずれを防止しておくことが必要です。

対象商品：リファインバックエグザ

※ただし乾式二重床については「ルビロン101、ルビロンエース」を用いての施工をお願いします。

施工上のご注意

■接着剤

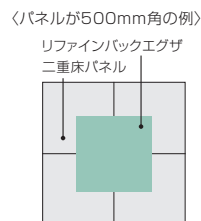
- ・接着剤は当社指定のピールアップボンド（CP-7L）をご使用ください。
- ・接着剤の塗布量の目安は約100～150g/m²とし、ローラーで塗布してください。
- ・接着剤が透明になってから、施工を開始してください。

■貼付け

- ・接着剤やメンテナンスの際の洗剤などが流れ込まないように、パネルと床材を目地をずらして貼ります。
- ・開口率の高いパネルや凹凸の大きなパネルはタイルの破損や突き上げが発生するおそれがあるため、施工は避けてください。
- ・パネル間に隙間があり、この隙間に床材がなじむことにより段差などが発生しやすい為、注意してください。
- ・下地パネルの段差は1mm以下、隙間は2mm以内に抑えてください。
- ・パネルの段差や目地隙の不陸が大きいと目地ズレが生じる場合があります。横のラインを調整しながら、施工を行ってください。

■割付け

- ・割付けの際は、パネルの目地とタイルの目地を半分ほどずらしてください。
- ・パネルとタイルの目地を合わせると目地隙や段差などが発生する場合があります。



■住宅向けビニル床タイルの施工について

対象商品：ホームベスタ、ホームエグザ、おきピタッと イージー

住宅向けビニル床タイルの特性

- ・ホームベスタ、ホームエグザは、既存床の上に重ね貼りが可能な床材です。
- ・接着剤にルビロン101、ルビロンエース または RF ボンドを用いての施工が基本となりますが、ホームエグザはピールアップ工法による施工も可能です。
- ・おきピタッと イージーは、裏面に接着剤が付いているので、施工時に接着剤不要で既存の床に重ね貼りが可能な床材です。



製品に関してのご注意

- ・水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください。キッチンや洗面所、脱衣所など常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。
- ・床材表面に水や油をこぼした場合は、必ずすぐに拭き取ってください。転倒の原因となる恐れがあります。
- ・段差や凹凸のある床面への貼付は避けてください。
- ・室内用ですので土足での使用はお避けください。
- ・ホットカーペットや温風ヒーターなどをご使用の際は、目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げ、変色などの原因となりますので、床表面に熱が伝わらないようにご使用ください。
- ・扉を開閉する場所がある場合は、扉の下と床面に最低5mm以上のすき間があることを確認してください。（5mmは100円玉3枚分が目安になります）

施工上のご注意

- ・施工を開始する前に、施工を行いたい場所の床の種類を確認し、既存下地の上から重ね貼りが可能かどうかを確認してください。木質系下地、木質フローリング、クッションフロア等の上には施工できませんが、クッション性が高い場合や、凹凸差が激しい場合には施工できません。（畳やカーペットなど、やわらかい素材）
- ・下地にワックス等があると十分な接着強度が得られないため、予め除去してください。
- ・フローリング等に目地がある場合は、接着剤で埋めるようにしてください。（特に目地が多い場合は、塗布量が多くなる場合があります。また目地が大きなものについては、予め接着剤（PS-100）で補修することをおすすめします。）
- ・おきピタッと イージーは取り外しの際、既存の床材に接着剤が残る場合や、破損する恐れがあります。
- ※接着剤が残っている場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。また傷などは補修をしてください。
- ※おきピタッと イージーの詳細な施工方法は、梱包内付属の「おきピタッと イージー 施工説明書」をご参照ください。

■指定接着剤

- ・接着剤はホームベスタはルピロン 101、ルピロンエースまたは RF ボンド、ホームエグザはピールアップ施工の場合、ピールアップボンド (CP-7L) をご使用ください。
- ・ホームエグザを CP-7L で施工する場合、塗布量は、約 100 ~ 150g/ m²としてください。また塗布の際は、必ずクシ目ゴテを使用して塗布してください。

※ローラーで施工すると、接着不良による不具合が発生するおそれがあります。

POINT

【その他】

専用框は PVC 樹脂でできており温度変化により収縮、硬化軟化をします。そのため、冬場は硬化し、割れやすくなっています。また、製品は特殊な溝切りを行い L 字に曲がるようにしており、L 字になることにより隙間が無くなり強度が保たれるようになっています。ただし、溝の部分は薄くなっているため、冬場は曲げるだけで割れる場合や施工後、隙間があるような場合は後から割れてくるような場合があります。

詳しくは、梱包内付属の「専用框使用説明書」をご参照ください。

■床暖房への施工について

床暖房下地へビニル床タイルを施工することは最も難しい施工のひとつです。これは床暖房を使用することによる温度変化によって、下地の伸縮、床材の伸縮、水分の変化等が通常より発生しやすくなり、そうなることで目地の隙間、突き上げ、床材の剥離または膨れ等の不具合が発生するおそれがあります。床暖房の床仕上げ材として使用するためには、**きっちりと下地づくりを行うこと、そして指定接着剤で床材と下地を完全に接着させることが重要となります。**十分に注意して施工して頂きますようお願いいたします。

※おきピタッと イージーは、床暖房の上には貼り付けしないでください。

POINT

床暖房の施工に関してのご注意

材料保管

- ・商品を保管する際には、直射日光が当たらない乾燥した室内の平坦な場所をお願いします。タイルが変形し施工の仕上がりに影響をおよぼす場合があります。
- ・必ず 24 時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。
- ・5°C 以下の環境下では保管しないでください。製品が硬くなり施工がしづらくなる場合があります。

下地

- ・下地は基本的に平坦で強度があり、湿気が少ないことが必要です。
- ・不陸 (1m で高低差 2mm 以下)、段差 (0.5mm 以下) を目安に平滑に仕上がっているか、クラック・隙間などがいないかを確認してください。
- ・きしみやたわみがないかを確認してください。きしみ・たわみがあると接着剤の接着力を阻害し、剥離や浮き等の要因となります。
- ・下地が悪い場合は予め下地補修をしてください。
- ・高周波水分計を用いて、下地含水率が、8% 以下であることを確認してください。湿気の影響により臭気発生や接着力の低下、それに伴う目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げなどの現象が生じる可能性があります。
- ・下地に接着剤、油脂類、ワックス、グリス、塗料等の汚れが残っていると、接着不良や汚染の原因になりますので、除去してください。

接着剤

- ・接着剤は当社指定接着剤の「ルピロン 101」、「ルピロンエース」または「RF ボンド」を使用してください。接着剤の塗布は付属のクシ目ゴテを使用してください。**ピールアップ施工はできませんのでご注意ください。**

パネル型床暖房

- ・下地材は動きの少ない合板基材の木質フローリング材・合板 (12mm 厚以上) に限ります。
- ・動きの大きいパーティクルボード、MDF 基材の木質フローリング材への施工は避けてください。
- ・下地材の段差が 0.5mm を超える場合は、サンダー等で段差を削り平滑にしてください。
- ・隙間 (0.3mm 以上) があれば、エポキシ系パテで下地補修をしてください。

コンクリート埋設型床暖房

- ・十分な事前加熱をし、下地含水率 8% 以下にしてください。
- ・補修箇所の確認および平滑性の確認をして頂き、クラックの段差はサンダーで削ってください。
- ・部分的に床暖房が施工されている場合、床暖房下表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差を 15°C 以下になるようにしてください。

施工後

- ・施工後 2 日間は、施工時の温度を保った状態で養生してください。また接着剤が完全に硬化するまでは、極端な負荷や温度変化をさせないようにするとともに、直射日光・水洗い・重量物の走行等も避けてください。
 - ・完全硬化時間後、接着不良 (剥がれ、突き上げ等) がないか確認してください。床暖房の運転は、接着剤が十分硬化した後に行ってください。(目安として冬期: 7日、春秋期: 3日、夏期: 1日程度)
 - ・床暖房接地面に家具および敷物など断熱性の高いものが床に置かれ長時間熱が閉塞するような環境では、ビニル床タイルに支障をきたす場合がありますので施工後のご使用にも配慮願います。
 - ・接着剤の硬化後、必要に応じてワックスかけをおすすめします。
 - ・当社のビニル床タイル (おきピタッと イージーを除く) は床暖房で想定される耐熱性を有しており、製品自体の著しい劣化に対して配慮しておりますが、床暖房および仕上げ材に対する影響は各メーカーにお問い合わせください。
- ※その他タイルの基本的な施工方法に関しては、ビニル床タイルの施工マニュアルをご参照ください。